

FDニュースレター

FD（ファカルティ・ディベロップメント）とは、教員が授業内容・方法を改善し向上させるための組織的な取組の総称で、本学では、授業アンケート、FD講演会など、各種FD活動を中心に実施しています。

今回は、2019年度活動計画等についてお届けします。

『FDニュースレター』は、年次報告として、FDに関する情報を取り纏め、情報を共有することにより、それぞれの活動を組織的な活動へと発展させるための一助として発行しています。

2019年度1号（通巻第6号）

■ 2019年度活動計画

▶ FD講演会（※組織的なFDとするために、各種委員会と協働して開催）

☆大学教育学会 大会（6月）及び課題研究集会（12月）への参加者募集を今年度も行うこととし、報告も、例年通り行う予定です。それぞれの案内が届きましたら、参加者を募集します。

▶ 各種会議等におけるFD活動の報告

☆現在、教員間で実施されている、教育改革に関するプロジェクト・基礎ゼミ・語学会議・学科会議等のFD活動について、報告をご提出いただいています。

▶ 公開授業

☆昨年に引き続き、公開授業を実施する予定です。

同じ科目等を担当する教員間で、授業参観のあと、授業経営手法や評価方法の擦り合わせなどを実施します。

▶ 学生による授業アンケート

☆今年度も各セメスターの期末頃に実施予定です。

学生による授業アンケートの科目毎の選択質問項目の集計結果（詳細）は、『学生による授業アンケート結果』（冊子）として、図書館で閲覧することができます。

■ 全学教員協議会開催報告

▶ 2019年5月18日（土） 全学教員協議会が開催されました

当日は、教員50名・事務職員29名が参加し、講演会後には13階ラウンジで情報交換会が催されました。

基調報告 「高等教育を巡る諸問題と本学の課題」
二松学舎大学 学長 江藤 茂博

FD講演 「学修者本位の教育」
国際基督教大学 学長 日比谷 潤子氏

FD報告会 「学生の授業アンケート分析から見た諸問題」
大学改革推進部・IR推進室

「ハラスメント防止について」
二松学舎大学 ハラスメント防止委員会委員長 文学部 教授 改田 明子

■ 学生による授業アンケートの項目が変わりました

➤ 学生による授業アンケート項目の変更内容について

2018年度に実施された全学教員協議会のFD講演会において、本学の授業アンケートに関する見直し機運が醸成され、自己点検・評価実施委員会で検討の結果、アンケート用紙における質問項目数を減らして、学生の負担軽減を図る方法が提案されました。アンケート項目の内容等については、設問項目数を30項目から、12項目としました。

また、学生の記入する自由記述では、これまで、『授業改善に向けた意見や提案』として、『この授業の良かった点』・『この授業をもっと良い授業にするための意見や改善提案』について記入する形式となっていました。

2019年度からは、『授業をとおして学んだことや授業改善に向けた意見や提案』として、『この授業をとおして学んだこと』・『この授業をもっと良い授業にするための意見や提案』について記入する形式に変更し、学生自身の学習の振り返りと授業改善に向けての率直な意見を聴くこととしました。

2018年度	2019年度
【学生自身の学習への取り組み（マークシート）】 <ul style="list-style-type: none"> ・授業を履修した理由 ・授業の遅刻回数 ・授業の欠席回数 ・授業時間外の学習時間 ・授業への参加姿勢 ・集中力の持続時間 ・ノートの内容 ・教員に工夫してほしい内容 	【学生自身の学習への取り組み（マークシート）】 <ul style="list-style-type: none"> ・授業を履修した理由 ・授業の欠席回数 ・授業時間外の学習時間
【当該授業について（マークシート）】 <ul style="list-style-type: none"> ・シラバスの内容 ・説明 ・授業進度 ・授業内容の分量 ・話し方 ・板書やスクリーン ・配布資料 ・授業時間の確保 ・課題分量 ・課題難易度 ・学生の理解度への配慮 ・Live Campus 	自由記述欄に記入 『この授業をもっと良い授業にするための意見・改善提案』



アンケート項目の絞込み



記入方法の変更

■ 授業担当教員によるコメント

2016年度から、学生による授業アンケート結果の組織的活用の一環として、授業担当教員からアンケート結果に対するコメントシートの提出をお願いしています。授業における様々な工夫や、学生理解のための努力など、授業改善の具体的な方法が示されているコメントシートの一部をご紹介します。

学生の学習意欲・力の差が大きくなっていると感じるので、自己採点形式の小テストを何度か実施し、学生自身が理解度を把握できるようにしたい。

ノートの漏れがないように学生に確認をしたり、授業の理解度等をリアクションペーパー等でできる限り把握するようにしている。

コメントシートにご協力いただき、ありがとうございました！

【執筆責任】 自己点検・評価実施委員会

2019年7月31日発行

【お問い合わせ先】 二松学舎大学 大学改革推進課 TEL: (03)3261-1285

FAX: (03)3261-7413

E-mail: gakumu@nishogakusha-u.ac.jp